

効果の出る IT活用術

ユーザーシステム「名人」シリーズ導入事例①

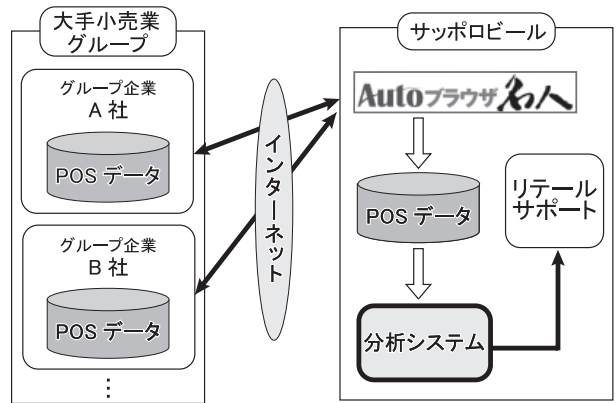
サッポロビール



サッポロビールは、ユーザーシステムの自動化ソフトウェア

ユーザーシステムは、EDI(電子データ交換)、物流、伝票発行などにおける業務効率化を支援する、WebやITを通じたソリューションを提供する。受注から調達、在庫管理、配送、販売といった食品のサプライチェーンで、それまで人力でまかなわざるを得なかった帳票発行などの作業に対応し、システム化・ネットワーク化をサポート。基幹システムでは対応しにくい課題に確実かつスピーディーに対応することで、企業の生産性向上や競争力強化に貢献してきた。今シリーズでは、同社が提供する「名人」シリーズなどの商品・ソリューション導入事例を毎月1回、全10回にわたってレポートする。(小澤弘教)

「Autoブラウザ名人」を使ったPOSデータのダウンロード概念図



「Autoブラウザ名人」を導入することで、人・スピーディーな分析・提案に生かしている。高雄康行営業本部流通統括部家庭用戦略グループシニアマネージャー

「POSデータを深く分析することで、お客さまに価値ある提案をすることができると、高雄康行営業本部

流通統括部家庭用戦略グループシニアマネージャーは語る。同社は

DL作業を大幅圧縮 スピーディーな分析・提案へ

国内各エリアに取引先小売業への提案営業支援を行うリテールサポート担当者を配置している。POSデータの分析は、営業担当者や取引先小売業に対して販売チャンスの発掘や実施した施策の検証などの情報提供を行う上でリテールサポート担当者には欠かせない営業ツールの一つである。同社では、2012年から大手小売業グループが専用サイトでPOSデータの開示を開始したことに合わせ、同企業のPOSデータを手作業でDLしていた。しかし、データをDLするにはグループ企業1社当たり1日約1時間かかり、さらに20を超えるカテゴリーを手作業で一つずつ抜き出す必要があったために、まれにヒューマンエラーも発生していた。また、当初はグループ企業数社だったPOSデータ開示も、現在は十数社に増加。タスクは大幅に増加した。単調でミスなどもあった手作業を自動化することで、より本業に専念できるようになった。

「Autoブラウザ名人」は、さまざまなブラウザ操作を自動化するツール。起動からWebサイトへのアクセス、IDやパスワードの入力などを全て自動化することができ、取引先各社のWebEDI(インターネット)を利用した受発注システム)からの受注データのDLやデータ入力などを人の手を介さず行う。同ツールはインターネット・エクスペローラーで閲覧できるブラウザの操作を自動化できるため、今回の事例のようにWebEDI以外にも活用が期待できる。